

令和6年度第4回柏市健康福祉審議会地域健康福祉専門分科会会議録

1 開催日時

令和7年1月29日（水）午後2時～午後3時30分

2 開催場所

ラコルタ柏 4階集会室

3 出席者

(1) 委員（7名）

中川委員（会長）、山名委員（副会長）、阿部委員、岡田委員、新井委員、豊田委員、二瓶委員

(2) 関係部署（6人）

谷口福祉部長、矢部福祉部次長兼生活支援課長、橋爪市民生活部次長兼市民活動支援課長、大西健康政策課長、柏市社会福祉協議会増田次長、柏市社会福祉協議会富樫総務課長

(3) 事務局（6人）

虻川福祉政策課長、鎌田福祉政策課副参事、高橋福祉政策課主幹、泉田福祉政策課副主幹、品地福祉政策課主任、中間福祉政策課主事

4 議題

第5期柏市地域健康福祉計画（素案）について

(1) 第5期柏市地域健康福祉計画（資料編/詳細版）の確認

(2) 第5期柏市地域健康福祉計画（本編/ガイドブック版）の確認

5 議事（要旨）

(1) 第5期柏市地域健康福祉計画（資料編/詳細版）の確認

資料1及び資料2に沿って泉田福祉政策課副主幹から説明

【前回の意見の反映及び前回素案から大きな変更点】

- ・地域人材の定義を「源泉となる人材」から「多様な個々の人材」に変更
- ・「いきいきセンター」や「民生委員・児童委員」など、地域活動に密着した具体例をコラムとして追加
- ・計画の概念図の追加
- ・「多様な担い手による地域づくり」をイメージしたイラストを追加

【パブリックコメントの結果】

- ・実施期間：12月13日（金）～1月14日（火）（33日間）
- ・配布・閲覧場所：近隣センター、市役所

- ・意見数：0件
- ・今後、市民が意見を出しやすい環境の整備が求められる
- ・SNSやオンラインフォーラムを活用し、意見収集の方法を多様化

【質疑応答】

(ア) 計画の分かりやすさと伝え方

- ・コラムの内容が分かりやすい。地域いきいきセンターと民生委員・児童委員、主任児童委員の方が取り上げられた経緯や理由は？（二瓶委員）
→いきいきセンターは各地域に身近な相談窓口として設置をしている。民生委員・児童委員に関しても、一人でも多くの方に知っていただきたいというところで、紹介を行った（事務局）
→地域づくり・まちづくりは抽象的な表現も多いので、事例としてコラムを増やすと、具体性が増して伝わりやすいのではないか（二瓶委員）
- ・「地域健康福祉計画」というタイトルだが、本文では「地域福祉」という言葉が並ぶ。あえて健康という言葉を外したのか（岡田委員）
→一般的に「地域福祉」という言葉が使われているが、柏市ではあえて地域福祉と健康は一体的に考えるべきという思いがあり「健康」を入れている。ただし、国が使用している「地域福祉」という言葉を「地域健康福祉」に置き換えるのは難しい部分があり、一部はそのまま「地域福祉」という表現を使用している（事務局）
- ・御意見：民生委員・児童委員の活動を掲載してもらえて嬉しく思う。この計画には、地域の集う場所が求められていることやさまざまな取り組みが紹介されているので、読んだ人が地域の集いの場やイベント、ボランティアへの新たな気づきや興味を持つきっかけになると思う。（山名委員）

(イ) 指標と評価の分かりやすさ

- ・資料内の評価指標の矢印の向きが直感的に分かりにくい（中川会長）
→減少を目標とする指標もあるため、その場合は上向き矢印を使用します。ただし、より直感的に理解できる表現に修正（事務局）
- ・御意見：矢印だけでなく、アイコンを活用すると分かりやすい（岡田委員）

(ウ) 計画（本編）と資料（資料編）の連動性

- ・本編と資料編をどのように使い分けるのか。本編から詳細内容が掲載されている資料編へのアクセスがしにくく連動性が気になる（豊田委員）
→本編は市民向け、資料編は行政向けとして作成（事務局）

(エ) 計画の周知方法

- ・ ダイジェスト版でも構わないので、計画を市民にどう届けるのかが重要（阿部委員）
→広報活動の強化，地域イベントでの説明会開催，学生向けアンケートの活用を検討（事務局）
- ・ どのような形で計画を周知していくのか？（新井委員）
→市民向けの説明会やワークショップの開催，多数開催されているイベントとの共同，また地域団体と協力して読み物として広げていけるような形を考えている。学生向けのアンケートも実施したため，学校との連携も図っていききたい。定期的にこのような形で審議会で進捗報告をさせていただくなど，いくつかのツールを事務局の中で検討中。本編と資料編との連動については，現在の計画策定業者とも相談し，例えばQRコードを付けて，資料編の詳細な内容をホームページで確認できるようにすることを検討（事務局）
- ・ パブリックコメントが0件なのは残念。実施方法は，市全体で全て同じルールで実施されているのか，それともそれぞれ異なるのか。（阿部委員）
→柏市で行っているものは全て同じ決まりに従っており，配布場所等，期間等も全て同じ（事務局）
- ・ 御意見：社協と同じ情報を発信するのは避けたいので，データの共有などを適宜行い，相互に連携を取りながら進めるべき（中川会長）

（オ）地域活動と計画の連携

- ・ 計画名に「健康」が含まれることや，各計画との関係を見ると，「保健」の概念や保健所との関連について，計画の位置づけを掲載している部分に加えた方がよい（豊田委員）
→資料編にて整理をします（事務局）
- ・ 御意見：計画を実行に移す際，地区のデータを活用しながら実施してほしい（中川会長）
- ・ 御意見：中間評価の際等，学校レベルでの聞き取りを実施してみるのもよいと思う。時期を見ながらになると思うが，地区を絡めていくのも一案であり，プロセスを経て計画を周知していくという考え方も必要なのではないかと思う。

（2）第5期柏市地域健康福祉計画（本編/ガイドブック版）の確認

資料1及び資料3に沿って品地福祉政策課主任から説明

【質疑応答】

- ・ 計画は実行されて意味を持つ。実行の道筋に至るような具体的なプロセスがプラスされると，計画が更に実のあるものになってくるという印象を受けた（二瓶委員）

→今のところ具体的なところまで落とし込めていないため、どういう風に紙面上に入れるのか、どうつなげていくのかというのは検討（事務局）

- ・ 御意見：「市民の声で見た柏市」の部分はもう少しシンプルに分かりやすくしていただいた方がいい（阿部委員）
- ・ どこで情報を得たり、誰に聞いたらいいのかというところが分かりやすくなっている
とすごく助かると思う（新井委員）
→情報を得る時にどういう風にすれば良いのかという視点は不足していた。別の紙媒体
やQRコードの設置などを事務局で検討（事務局）
- ・ 御意見：「つなぐ」というのは重要なキーワード。コーディネーターの紹介などがあると
良い。人材育成などを考えた時に、横のつながりやスキル、マッチング事例の可視化
が必要（二瓶委員）
- ・ 御意見：計画書の順序や構成を再検討し、より分かりやすくするべきでは。なぜそう
するのか、何をするのか、どういう風にするのかななどを明確に（豊田委員）
- ・ 御意見：これを手に取った方がご自身のこれからの生活の中でポジティブなイメージ
を持つ。誰かのためにもなり自分のためにもなり健康増進にもつながっていくというこ
とがイメージできるような健康のプロモーションを今後検討していただけるとありがた
い（二瓶委員）

6 その他

- ・ 第5期柏市地域健康福祉計画の策定について答申。日程は2月の下旬を予定。
頂いた意見を事務局でまとめて、内容確認後、中川から市長へ答申を提出。